

02

サステナギア最前線
リサイクルペットボトルで作られた
サステナブルなサングラス

03

2023-2025 日立建機 新中期経営計画をひもとく
革新的ソリューションで未来を創る
拝啓・現場小町
株式会社マドリン
榎木 円佳さん

10

12

Solution Linkage 通信簿
Solution Linkage Point Cloud編
共同企業体 岩手中央アスコン【岩手県・矢巾町】

14

TIERRA+ JOURNAL
イベントレポート / 日立建機からのお知らせ

16

日本のすごいインフラ
日本一のモグラ駅
土合駅構内土舎斜坑



サステナギア最前線

02

気候変動対策やSDGsへの取り組みは、避けては通れない時代になりました。
ぜひ取り入れたい、サステナブルで身近なギアをご紹介します。

文／編集部

リサイクルペットボトルで作られた
サステナブルなサングラス



「PLAGLA PG-02」7,920円（税込）。
※調光レンズの場合は11,000円（税込）。
フレーム1本の製造につき500mlペットボトルを約2本使用。ケースは再生紙、メガネ拭きはペットボトルを原料で作られている。シンプルなデザインと配色のため、幅広いコーディネートに合わせやすい。

【サイズ】レンズ幅51mm、ブリッジ幅19mm、
テンプル長さ141mm
【重量】34g
【カラー】BLACK×GREY、
BLACK×LIGHT BLUE、
BROWN×GREEN

環境問題を引き起こす廃棄物をアップサイクルで嗜好品に再生

世界中の海に流れ込むプラスチックごみ。その量は年間約800万トンといわれ、海洋汚染や生態系への被害を引き起こすものとして問題視されている。「ごみ自体を減らす努力をしなければ、この問題は解決しない」。そんな思いから生まれたのが、人と環境にやさしい商品の提案をめざすアイウェアブランド「PLAGLA（プラグラ）」だ。

フレームの原料には、国内で回収されたペットボトルを使用。これらを洗浄、粉碎したものを溶かしてフレームを成形し、手作業でメガネやサングラスに組み立てていく。レンズには自然に還る「生分解性バイオポリマー」を採用。金属パーツ不使用のため汗や海水などによる劣化の心配が少なく、再リサイクルしやすい設計になっている。

製造を行うのは、メガネフレームの国内生産シェア約9割を誇る福井県鯖江市内にある工場。製品開発の際には、着用時のストレスを感じにくくするための柔軟性やかけ心地を追求。国内規格のテストをクリアする耐久性など、長く愛用するための仕様にもこだわった。

プラグラのように不用品から新たな価値を生み出す手法は「アップサイクル」と呼ばれ、多方面で取り組みが広がっている。「魅力を感じて選んだ商品が、たまたま環境に配慮したものだった」。そんな気づきが日常になる日はそう遠くなさそうだ。

日立建機 2023-2025
新中期経営計画をひもとく
革新的ソリューションで未来を創る



執行役社長兼COO 先崎正文

世界を切り拓いていきたい

ソリューションプロバイダーとして未来への扉を開けて、

2023～2025年度の中期経営計画「BUILDING THE FUTURE 2025 未来を創れ」がスタートした。顧客価値を最大化する「ソリューションプロバイダー」を旗印に、事業をどう成長させ、どんな未来を描いていくのか。先崎正文新社長が中期経営計画のねらいを語った。早くも現場ではお客さまニーズを捉えた革新的ソリューションの提供が加速している。後半ではマイニングチームの挑戦を追った。

文／牛島美苗（P04-05）、斉藤俊明（P06-09） 写真／若原瑞昌（P03-05）、関根則夫（P06-09）